



自立とは、依存先を増やすこと

ひとさじの会 代表 高瀬顕功



タイトルは小児科医・熊谷晋一郎先生のお言葉です。熊谷先生は脳性まひで幼いころから車いす生活をされています。

私たちは、何にも頼らないで生きていくことが「自立」と思ってしまいがちですが、実は逆で、生きていく中では様々な

ものに頼らなければならないし、自立できていると思える人ほど依存先を多く持っている。なので、自立を目指すなら依存先を増やさないといけないというのが熊谷先生の言葉の真意です。

ある冬の夜、コンビニエンスストアの前のベンチに座る高齢の男性と出会いました。よく見ると額から血をにじませているではありませんか。絆創膏をお渡し、お話を聞かせていただくと、ベンチで休んでいるうちにうとうとして転倒してしまったとのこと。

そこから、ぼつぼつとお話くださり、この街には今日来たこと。それまでは、手持ちのお金でビジネスホテルに泊まっていたこと。さらに、そ

おにぎり通信

No. 07

ひとさじの会ニュースレター 2022

2022年6月20日

発行：社会慈業委員会（ひとさじの会）

〒111-0022 台東区清川 1-8-11 光照院内

hitosajinokai@gmail.com

http://hitosaji.jp

目次

- 1 頁 自立とは、依存先を増やすこと
- 2 頁 令和3年度の活動報告
- 4 頁 九州・滋賀支部活動報告
- 5 頁 在日ベトナム人への緊急施米支縁報告と御礼
- 5 頁 中外日報社「涙骨賞」・NHK「こころの時代」
- 6 頁 令和4年度の活動予定・ボランティア募集の休止
- 6 頁 悲しい別れをご縁に
- 7・8 頁 決算報告 支援協力御礼

れ以前は、刑務所で暮らしていたこと。頼れる親族はいないことなどをお話させていただきました。できることなら生活保護を受けたいとのことでしたので、一晩泊まれる宿を用意し、翌日の相談にお繋ぎすることにしました。

迎いの車に乗っていただこうと案内すると、一人では歩けないほどよろけてしまいました。元々足が悪かったようですが、外の寒さと衰弱でいっそう足腰が弱くなってしまったようです。身寄りなく、足が不自由な人を、なんの支援にもつなげず出所させてしまう刑務所にも驚きましたが、それは仕事の範囲外だと言われればそれまでかもしれません。

私たちが路上で出会う方々は、こうした依存先をほとんど持たない方ばかりです。行政の支援の届かないところにいたり、家族との関係性がよくなかったり、頼る先を探すのも大変な方々ばかりです。あの日、出会えてなかったらあの方はどうなっていたでしょうか。小さな活動でも、継続することに意味があると思えた夜の出来事でした。

本ニュースレターを通じて、多くの方に私たちの小さな活動を知っていただければ幸いです。

合掌

○令和3年度の活動報告

吉水岳彦

○炊き出し・夜回り支縁

- ・期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日
- ・開催日数26回(原則として毎月第一・第三月曜日)
- ・配食数(お弁当) 4873個
- ・マスク 24365枚
- ・寝袋配布数 101個 他団体に49個寄附
- ・公衆浴場共通入浴券の数 1705枚

9月—5枚ずつ215人
2月—3枚ずつ210人

長引くコロナ禍は、もともと生活の基盤が脆弱だった人たちに大きな影響を与えているのでしよう。弊会の行う炊き出し・夜回り支縁活動で出会う路上に暮らす人たちの数は、コロナ禍が始まった昨年度に増加して以来、一向に減少することがありません。それどころか、配布する弁当が足りなくなり、急きよ追加の弁当を用意することもしばしばありました。そのようななか、弊会メンバーは、お弁当を配布する際に、路上に暮らす方々に新型コロナウイルスを感染させないよう、今年も細心の注意を払いながら活動し、お弁当や飴などの他に、マスク等の感染予防対策用品を配布いたしました。



お配りしているお弁当など

また、夜回り活動のボランティアの募集再開について、一時的に感染者が減少した時期に理事たちと話し合いました。しかし、新型コロナウイルスオミクロン株の流行などもあって、大人数でおにぎりを作って配る、かつての活動形態を再開させるには時期尚早であると判断し、引き続きお弁当を購入して最小限の人数で配るといような活動形態を継続することになりました。路上に暮らす人たちとボランティアたちの双方が、できるかぎり安全で安心な状態でお弁当などの配布ができるようになるまで、まだしばらくボランティア募集の停止を継続し、活動現場近郊から通えるスタッフ数名のみで運営を続けます。



配食中 上野公園

そんな厳しい状況が続く令和3年度の炊き出し・夜回り支縁活動でしたが、今年は思いがけず、定期的に配布する物を、新たに増やす事ができました。それは、公衆浴場共通入浴券です。かつて一緒に夜回りをしていただいていた台湾仏教徒より、都内の公衆浴場共通入浴券のご寄付を2回、415名分を賜りました。暑い時期と寒い時期の入浴券の配布は、双方ともに路上に暮らす多くの方が大変喜びました。それゆえ、この取り組

みは、寄付を頂戴できるかどうかに関係なく、次年度も継続して行うことを理事会で決定しました。終わりの見えないコロナ禍の影響で、多くの人が漠然とした閉塞感や不安感を覚えておられることでしょう。お風呂に入ってさっぱりしてもらうことで、わずかでも心と身体の両方をリフレッシュしてもらう一助になることを願います。

○葬送支縁

- ・納骨供養 5 件 (16 柱)
- ・葬儀 3 件
- ・法事 3 件
- ・棚経 0 件
- ・墓参 4 件

令和3年度も新型コロナ禍の流行に伴う緊急事態宣言などの影響で、秋まで思うように法要を行うことができませんでした。そのため、つくろい東京ファンドやもやい事務所における棚経等も行えず、亡き大切な人の為に集う機会も失われたままでした。ただ、感染拡大が落ち着いた秋以降は、複数回、感染症対策に留意をしたうえで、法要を行うことができました。また、令和4年3月のお彼岸には、関係団体がそれぞれ分散して墓参を行うなど、参拝の形に工夫を加え、大切な人の死を悼むための集いの実

現を考えてくださっていました。コロナ禍だからこそ、人と人とのつながりが大切なことを感じさせられた1年になりました。

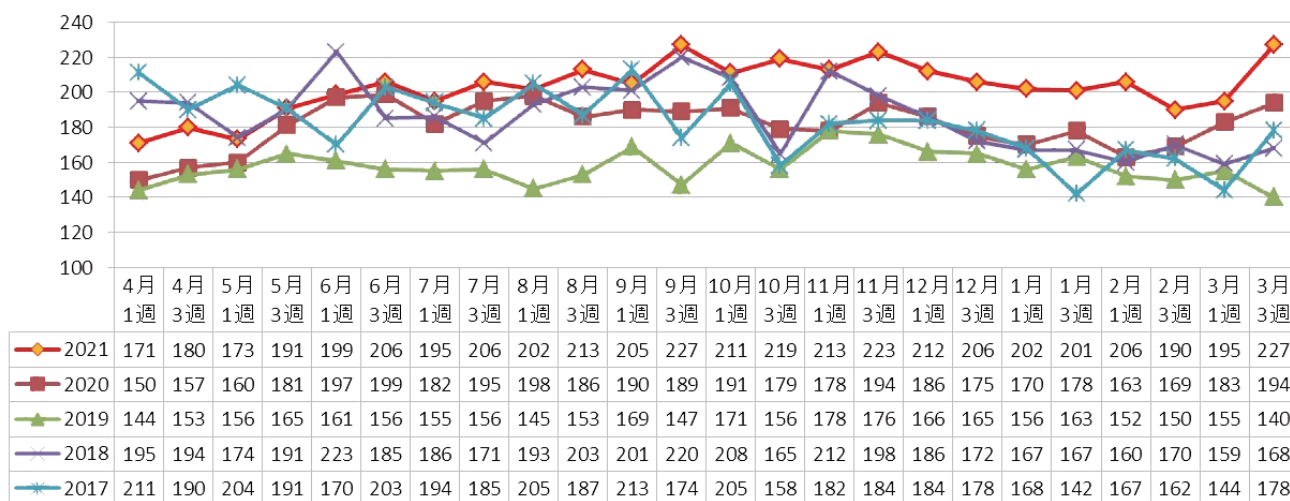
○施米支縁

- ・ひとさじの会が受け取った施米：約 1870kg
- ・ひとさじの会が他に届けた施米：約 2000kg

令和3年度も、全国の浄土宗寺院からお米がひとさじの会に届けられました。また、この活動を理解してご応援くださる全国の個人や団体、諸宗派の寺院様や檀信徒様よりお米を頂戴しています。昨年度より弊会の夜回り配食の形態が変わったため、そのお米を弊会で配布するおにぎりに使用することはできませんでした。しかし、昨年度同様に、こども極楽堂におけるフードパントリーにお越しになる方々や母子支援施設等の利用者たち、困窮する在日ベトナム人など、「食」を必要としている方々にお届けをさせていただくことができました。

お米の他にも、お菓子類、マスク、使い捨てカイロ、タオル等も頂戴し、台東区の子育てを支え合うネットワークや在日ベトナム仏教信者会等、他の団体にも活用させていただいています。団体の枠組みを超えて、困窮している方々に必要な物資が届けられることは誠に有難いことに思います。

夜回り配食数(食)



コロナ禍で経済的に厳しい状況にある日本において、かくも多くの食の支縁をしてくださるみなさまに、この場をお借りして心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

※ちなみに、上記の施米支縁の報告にて、届けたお米の量が受け取った量を上回っているのは、昨年度までに頂戴していたお米を使用したことによるものです。

○九州支部の活動報告 —大分米一升運動開始10周年—

ひとさじの会九州支部長
今井英之

九州支部の活動は施米支縁活動が中心で、大分教区浄土宗青年会の有志と共に「大分米一升運動」を行い、生活困窮者の他、災害被災者の生活再建支援を行う団体などに食糧を届けてきました。「大分米一升運動」は、令和3年度末に10年を迎え、2022年5月の「浄土宗新聞」にも掲載されました。以下、「浄土宗新聞」記事（浄土宗HPより転載）です。

大分米一升運動 始動10年 地域に根差した運動へ

大分県内にある浄土宗寺院の青年僧侶で組織する大分教区浄土宗青年会（吉峰孝順会長）は3月25日、大分市の龍泉寺（吉峰信道住職）で、教区内の各寺院に檀信徒から供えられたコメ（「仏供米」）を提供してもらい生活困窮者らに配る「大分米一升運動」の発送作業を行った。

会員ら約10人が参加し、協力寺院を回ってコメを集めた後、検品を兼ねて用途別に袋詰めし、フードバンク大分、グリーンコープ大分、明野子ども食堂など県内の生活困窮者支援団体に寄託。今回の活動では、14カ寺から約1・3トンのコメが提供された。

この運動は、平成23年の東日本大震災の際、大分教区の僧侶有志が遠隔地から被災地支援ができないかと考え、食糧支援のノウハウがあった社会慈業委員会「ひとさじの会」の協力を得て始め

たもの。今年で始動してから10年という節目を迎えた。

平成28年までは東北の被災地支援を行っていたが、同年4月に発生した熊本地震を受け、支援する対象を熊本に切り替え、さらにコロナ禍の現在では、被災地支援から県内の生活困窮者支援を中心に活動を行っている。

運動の発起人の一人・鶴山恒教大分教区長（国東市蓮華寺住職）は、「当初手探りであったこの運動が、今では地域に根ざしたものになり、檀信徒の皆さまが率先して協力していただけるようになって非常にうれしい」と思いを語った。

○滋賀支部活動報告

ひとさじの会滋賀支部長
フードバンクびわ湖理事長
曾田俊弘

令和3年度も昨年度と同様にフードバンクびわ湖（FBB）の活動に専心没頭しました。「フードドライブ」（余剰食品の持ち寄り）の普及推進、「フードパントリー」（食品配布会）の開催、食品の「宅配」の実施を活動の三本柱として取り組みました。

われわれの呼びかけに応じて、多くの地域・団体・企業等のコミュニティがフードドライブに取り組んでくださるようになりました。また市役所・地域交流施設・介護施設・レストラン・寺院等、多くの人の集まる施設がフードボックス（食品回収箱）を設置しフードドライブの拠点になってくださいました。

そのおかげで、食品のご寄附が飛躍的に増え、県内3市においてフードパントリーを9回にわたって主催し、来場された方々にバラエティに富んだ食品をお渡しすることができました。また、多くのご家庭を訪問し、質・量ともに充実した食品をお届けすることができました。

来年度からは、ひとさじの会本部の後方支援のもと、滋賀支部の活動として、学習支援と子ども食堂を組み合わせた「子どもの居場所」を開設する予定です。楽しみに満ちた地域共生社会の実現にささやかな貢献を果たすべく精進していく所存です。

○在日ベトナム人への緊急施米支縁プロジェクトのご報告とご協力への御礼

令和2年度より行っていた「在日ベトナム人への緊急施米支縁プロジェクト」は、ベトナムへの渡航制限が解除され、在日ベトナム人困窮者への食糧支縁の緊急性が低くなってきたことに応じて、令和3年度上半に終了いたしました。ご縁をいただいた多くの寄付者の皆様のおかげさまで、令和2年6月から現在までに40トン以上のお米を購入して一般社団法人在日ベトナム仏教信者会・ベトナム寺院大恩寺に届けることができました。この場をお借りして、心から感謝を申し上げます。

○中外日報社「涙骨賞」実践部門受賞

突然のことながら、宗教系新聞として知られる中外日報社の「涙骨賞」実践部門に弊会が選ばれました。10年を超える活動に対する応援の意味もあり、誠に光栄なことに思います。涙骨賞副賞の30万円は、今後の活動資金として大切に使用させていただきます。以下、受賞時に頂戴した応援のメッセージを中外日報社HPより転載いたします。

涙骨賞実践部門受賞

生活支援を10年ひとさじの会

上智大教授 島藺進氏

山谷など、東京の下町の生活困窮者や路上生活者が多い地域で、夜回りなど、生きづらさを抱える人たちの支援活動を行い、仏教の教えの理解を深める活動を続けている若手僧侶を中心とする団体だ。その活動はすでに10年を超え、現代日本の仏教の新たな可能性を切り拓いてきた団体である。

浄土宗の宗祖である法然の伝記に、法然が路上の病人にひとさじずつ重湯を口に運ぶ姿が描かれており、その逸話から会の名称ができています。宗派を超えて協力する若手の僧侶と、一般のボランティアの人たちとの交流も意義深いものだ。

孤立する人たちも、実はともに生きることを求めており、その気持ちを汲み取りながら、人々が支え合って生きていける関係の構築を目指している。身寄りのない人たちの葬送の支援にも力を入れている。東日本大震災の支援活動や新型コロナウイルス感染症流行で困難に直面したベトナム人の支援など、折々の支援活動も行ってきた。仏教界の、また一般の支援者たちとの情報交換を通して力を蓄えており、現代仏教の社会的実践活動に新たな光を投げかけており、涙骨賞の実践部門を受賞するにふさわしい団体である。

以上

この度、このような栄えある賞を頂きましたこと、大変ありがたく思います。一方で、私たちのような団体が盛んに活動しなければならない社会の現状を考えると、悲しい気持ちでいっぱいになります。差別なく、争いなく、困窮でいのちを喪うことなく、すべてのいのちが平安に暮らせますように、弊会は今後も精一杯、活動してまいります。

○NHK「こころの時代」にて「山谷に生きる～僧侶親子三代の戦後～」

弊会事務局長の寺院が、NHK「こころの時代」にて取り上げられました。その影響は大きく、放送された1月23日と29日の後、ご相談の方や、ご寄付を申し出てくださる方からの問い合わせが多くございました。この放送をきっかけにご連絡くださった方々のお声から、長引くコロナ禍の社会において、精神的にも生活的にもお困りで、大変な思いをしている方が多いことを痛感させられるとともに、そのようにおつらい方々の力になりたいと、喜んで寄付をしてくださるみなさまのあたたかなお気持ちを感じました。すべての人の心身のご安寧をお祈り申し上げますとともに、この場をお借りして、ご寄付をくださった方々のご厚情に感謝を申し上げます。

○令和4年度の活動予定

炊き出し・夜回り支縁は、例年通り、月2回（原則第一・第三月曜日）に行います。開催予定日は下記の通りです。

令和4年 4/4、4/18、5/2、5/16、6/6、6/20、7/4、7/18、8/8、8/22、9/5、9/26、10/3、10/17、11/7、11/21、12/5、12/19、令和5年 1/9、1/23、2/6、2/20、3/6、3/27

※今年度も新型コロナの感染リスクが著しく下がり、危険がないと判断される状況になるまでは、ボランティアの募集やお寺での炊き出しは行わず、購入した弁当とマスク等を最小限の人数で配布します。また、令和5年1月の炊き出しの日程については、第1週が山谷の越年越冬活動と重なるため、第2と第4月曜日に変更しました。

○悲しい別れをご縁に

コロナ禍の影響で母国に帰国できなかったベトナム人たちのなかには、大切な親御さんの葬送に駆けつけられなかった方も大勢おりました。そんなつらい思いを、ひとさじの会の活動拠点

になっている浅草山谷光照院でお話になり、法要を営まれる在日ベトナム人仏教徒もいらっしゃいます。

昨年秋、池袋にHOOO CAFE（鳳凰カフェ）というベトナム料理店を開店されたフォンさんも、そのお一人です。彼女は、最愛の父母との別れをきっかけに光照院と縁を結び、ひとさじの会の活動を知って、応援して下さるようになりました。

彼女が新しいお店を開店する数日前のこと。お店にお越しになるお客さんや勤務するスタッフなど、お店にご縁を結ぶすべての人の幸せを願う法要をしてほしいとのご依頼をいただきました。日本ではなかなか耳にしません、ベトナムでは新店舗を出す際に仏教式の法要を行うことが多くあります。わたしも、この喜ばしい法要にお招きを賜れたことがうれしく、在日ベトナム仏教信者会会長のティック・タム・チー師と一緒に参列させていただきました。

法要の日程が決まると、フォンさんはすぐに開店を知らせるチラシを作成して、わたしにも送って下さいました。拝見すると……。なんとそこには、開店日とその翌日の売上金を、すべて路上で暮らす方々の寝袋購入のために寄付すると書かれていたのです！

周知の通り、長引くコロナ禍の影響で、多くの飲食店が疲弊していました。そんななか新たな店舗をかまえるだけでも、きわめてご苦労の多かったことと拝察されます。それなのに、

ボランティア募集の再開について

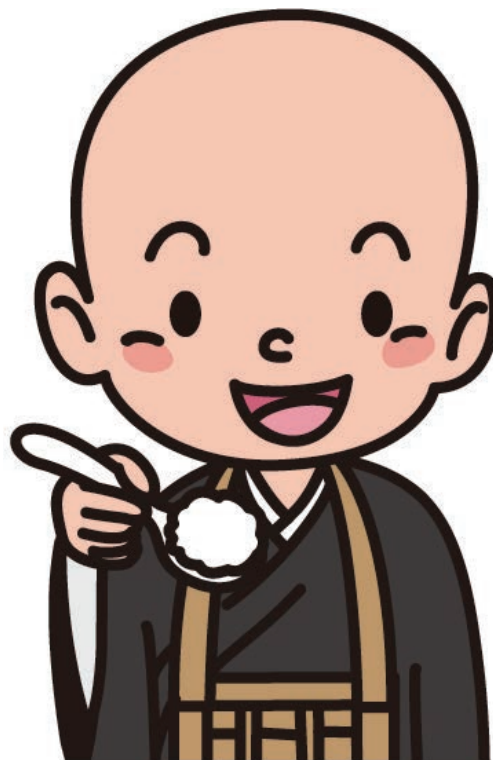
現在、弊会では路上の方々の安全を守りつつ、ボランティアの皆さんも安全、安心に活動できるような対策を講じながら、ボランティアの受け入れ再開を検討しております。受入れ時期や申込方法など、詳細はHPに随時情報を公開してまいりますので、ご確認くださいませようよろしくお願い申し上げます。合掌

開店から2日間の売り上げを、すべて困窮している人々のために使ってほしいというのです。誠に有難いことながら、心底驚きました。

このようなことは、誰にでもできることではありません。でも、親孝行の心を形に表そうと考えたフォンさんは、世間で困っている方々のために尽くすことで、阿弥陀様や観音様などの佛菩薩様や、極楽に生まれ変わったご両親にお喜びいただこうと行動したのでした。

ご両親のご供養のために、故郷から遠く離れた日本に於いて法要を営むだけでも尊いことですが、彼女はさらに、寒空の中、路上に暮らす方々に思いを馳せてくださり、みずからのできる支縁—お布施—を実行してくださったのです。

昨年度の厳しい冬も、例年、たくさんの寝袋をご寄付くださる在日ベトナム仏教徒の集い—随縁禅室—のみなさまの慈愛のお気持ちと、上記のようにご両親への愛情を昇華させたフォンさんの慈しみの心のおかげで、路上に暮らす大勢の方に寝袋を配布することができました。この場をお借りして、在日ベトナム仏教徒のみなさまの尊い慈しみの心に、衷心から感謝を申し上げます。



南無阿弥陀仏

○令和3年度 寄附寺院・団体（順不同敬称略）

光明寺（三木市）、善導寺（長野市）、法然院（京都市）、往生寺（栗原市）、長安寺（道方市）、新勝寺（成田市）、正覚院（江東区）、円宗寺（福岡市）、泉水寺（富津市）、宝幢寺（七尾市）、得生寺（桜川市）、大善寺（島田市）、宗円寺（台東区）、福泉寺（甲賀市）、大翁寺（境町）、法真寺（那須塩原市）、光源寺（文京区）、白雄寺（村山市）、長昌寺（杵築市）、源空寺（台東区）、蓮宝寺（府中市）、龍雲寺（札幌市）、光専寺（武蔵野市）、來運寺（天童市）、善光寺（松戸市）、観智院（港区）、泉福寺（江戸川区）、心光寺（いわき市）、實蓮寺（栃木市）、浄念寺（桶川市）、照光院（江東区）、常念寺（仙台市）、西門寺（足立区）、妙定院（港区）、安養寺（いわき市）、浄土寺（陸前高田市）、蓮華寺（国東市）、戒法寺（品川区）、正光寺（北区）、妙雲寺（益田市）、圓通寺（江東区）、慶岸寺（横浜市）、定泉寺（文京区）、大王寺（春日部市）、長伝寺（港区）、常行院（松戸市）、法学寺（長野市）、實相寺（本庄市）、大長寺（鎌倉市）、法源寺（富士市）、実性寺（足立区）、成覺寺（仙台市）、愚鈍院（仙台市）、成願寺（田村市）、妙慶院（広島市）、光明院（流山市）、安楽寺（野洲市）、慈恩寺（仙台市）、寶隆寺（余市町）、西念寺（二本松市）、一向寺（佐野市）、浄土院（山形市）、浄念寺（村上市）、安養寺（江戸川区）、北泉岳寺（砂川市）、雲龍寺（鹿沼市）、大念寺（大槌町）、來迎寺（八戸市）、浄土寺（港区）、一行院（文京区）、極楽寺（八王子市）、善教寺（川崎市）、浄延寺（いわき市）、無能寺（桑折町）、専念寺（鶴岡市）、浄土寺（小樽市）、龍華寺（鳥栖市）、長安寺（渋谷区）、生西寺（文京区）、弘経寺（結城市）、安養寺（大分市）、観音寺（横浜市）、大徳寺（仙台市）、真行院（台東区）、大蓮寺（川崎市）、地藏寺（有田市）、真勝院（葛飾区）、回向院（墨田区）、雲上寺（塩竈市）、西蓮寺（米沢市）、（公財）浄土宗ともいき財団、（一財）太田慈光会、Zoom 安居、淑徳与野中学・高等学校、光明園、マイトリーヘルプサービス、（一社）ハーモニー、（株）ユズカンパニー、HOOO CAFÉ、きぼうのいえ、（有）川本商店、津梁会、テラネット。

※ひとなべ会員 10 人、ひとはち会員 117 人、ひとさじ会員 46 人でした。上記の他、個人様からのご寄付も頂戴いたしました。ご支援下さったすべての方に深く感謝を申し上げます。

合掌

令和3年度決算報告

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

収入の部

(単位:円)

科目	項目	細目	決算額	備考
賛助金	賛助金		4,542,803	会員及び正規会員の賛助金、並びに諸団体の賛助金(太田慈光会40万円)含む合計
		事業協力金	480,000	(公財)浄土宗ともいき財団助成金(48万円)
	合計		5,022,803	
その他	雑収入		300,008	中外日報涙骨賞賞金 銀行口座利息
		繰越金	8,855,753	前年度繰越金
	合計		9,155,761	
総計			14,178,564	

支出の部

科目	項目	細目	決算額	備考
事業費	炊き出し費	食材	1,626,027	お弁当(1,415,467円)、アメ類
		医薬品	56,088	医薬品
		配布物	941,095	入浴券(480,560円)、寝袋(147,695円)、下着類(19,339円)、カイロ等
		消耗品等	41,250	ポリ袋等
		一時保護	54,630	一時保護した方への交通費・宿泊費・食費等
	合計		2,719,090	
	研修会費		0	
	活動推進費		279,053	ホームページ、おにぎり通信、出版支援金(15万円)等
	設備費		600,000	炊き出し会場賃貸費[(公財)浄土宗ともいき財団の助成金から支出] 光照院へ消耗品費
	提携事業費		100,000	祈りの道助成金(10万円)※りんりんふえす・夏祭りコロナの為中止
交通費補助費		24,930	夜回り時の交通費	
特定活動費		2,196,720	在日ベトナム人支援米10トン	
合計			5,919,793	
管理費	人件費		516,086	給与(月4万円+交通費)
	事務費		111,414	事務用品、会計庶務費
	通信費		84,254	郵送料、電話代、ZOOM等
	会議費		0	理事会会議費等
	雑費		27,598	手数料
合計			739,352	
予備費			0	
総計			6,659,145	

総収入	14,178,564
総支出	6,659,145
次年度繰越金	7,519,419

浄米・物資寄付並びに活動協力寺院・団体(順不同敬称略)

浄土宗務庁、仏教伝道協会、随縁禅室、淑徳与野中学・高等学校、シンママ熊本応援団、株式会社縁の木、つくろい東京ファンド、もやい、山友会、台東区の子育てを支え合うネットワーク、あじいる、山谷労働者福祉会館、下町グリーンサポート響和国、大船渡市川原アパート、大船渡市天子の森、マイトリヘルプサービス、医療ガバナンス研究所、東京慈恵会医科大学付属病院、ライスセンターひまわり、国境なき医師団日本、株式会社ヨック・モック、キーン・ジャパン合同会社、ゴスペルスパークル、Tokyo Borderless TU、株式会社旭堂、KDDI株式会社、D-SHIP 32、株式会社八大、学生団体 Joint Kinship、在日ベトナム仏教信者会、ビッグイシュー基金/ビッグイシュー・ジャパン相模原如来光明会、NPO 法人医療ガバナンス研究所、タケノ文具、SEAMORE(大林寺)、観音院(世田谷区)、雨引観音(桜川市)、西光寺(古河市)、往生寺(栗原市)、乗蓮寺(板橋区)、妙巖寺(古河市)、法光寺(東金市)、正福寺(つくば市)、浄土寺(香取市)、光永寺(栃木市)、西生院(水俣市)、大林寺(稚内市)、玄向寺(松本市)、正覚寺(古河市)、大翁寺(境町)、光照院(江東区)、浄土寺(港区)、照光寺(栃木市)、良心寺(横須賀市)、天然寺(木島平村)、荘厳寺(取手市)、玉圓寺(堺市)、海禅寺(金沢市)、明国寺(松江市)、林昌寺(春日井市)、東京佛光山寺(板橋区)、西蓮寺(米沢市)、高善寺(邑南町)、大念寺(松前町)、円宗寺(鞍手町)、真行院(台東区)、浅草聖ヨハネ教会(台東区)、慈恩寺(仙台市)、西光寺(石巻市)、来蓮寺(天童市)、宗圓寺(台東区)、東光寺(板橋区)、善光寺(松戸市)、西念寺(二本松市)、正定寺(古河市)、泉水寺(富津市)、大善寺(八王子市)、法徳寺(世田谷区)、延命寺(取手市)、大雲寺(江戸川区)、法源寺(富士市)、長昌寺(杵築市)

この他、多くの個人様からのご寄付も頂戴いたしました。ご支援下さったすべての方々に深く感謝を申し上げます。

ひとさじの会代表 高瀬頭功拝